



報道関係各位

2013年6月4日

モルソン・クアーズ・ジャパン株式会社

ソーシャル・パーティー・ロボットバンド「Z-MACHINES」 6月24日開催のデビュー・ライブに、 GOTH-TRAD が出演、書き下ろし楽曲を披露！ 先着 1000 名様を未来のパーティーへご招待 ～「Z-MACHINES」の完成写真も、ついに解禁！～

モルソン・クアーズ・ジャパン株式会社(代表取締役社長:矢野健一)は、6月24日に開催するソーシャル・パーティー・ロボットバンド「Z-MACHINES」(ジーマシーンズ)のデビュー・ライブに、GOTH-TRAD(ゴストラッド)の出演を決定いたしました。

Z-MACHINESの目指す未来のパーティーに相応しいアーティストとして、DUBSTEPの日本における第一人者であるGOTH-TRADに依頼し、デビュー・ライブへの出演が決定しました。なお、デビュー・ライブは6月24日に恵比寿リキッドルームで開催しますが、先着1000名様を無料でご招待し、ウェルカムZIMAをプレゼント致します。

「Z-MACHINES」とは、プレミアム低アルコール飲料「ZIMA(ジーマ)」が、「世界は日々進化しているのに、パーティーは進化しているのだろうか?」という問いのもと、“未来のパーティー”の実現を目指し、開発を進めてきたロボットバンドです。①超人的な演奏を行うアーティスト、②かつてないオーディエンスの一体感、③すべての人が参加できるボーダレスな体験、を提供することで、“未来のパーティー体験”を実現します。

また、未来のパーティーの開催に向け、5月20日から「Z-MACHINES」の楽曲募集を行なっていますが、特別賞を受賞したユーザーには、ギターロボットが使用するスタインバーガーと、同モデルのギターを贈呈することが決定しました。

みなさまの“未来のパーティー”への参加を心よりお待ちしております。

「Z-MACHINES」プロジェクト URL : <http://zmachines.jp/>



本件に関するお問合せ

モルソン・クアーズ・ジャパン株式会社 マーケティング部 03-6416-4580

▼デビュー・ライブ出演アーティストについて

GOTH-TRAD(ゴストラッド)



ミキシングを自在に操り、様々なアプローチでダンス・ミュージックを生み出すサウンド・オリジネーター。“REBEL FAMILIA”のプロデューサーとしても活動するなか、2005年にはMad Raveと称した新たなダンスミュージックへのアプローチを打ち出し、3枚目のソロ・アルバム「Mad Raver's Dance Floor」を発表し、本場ロンドンのダブステップシーンで話題となる。以降、ヨーロッパ・アメリカを中心としたワールドツアーと、UKの所属レーベル“DEEP MEDI MUSIK”からのリリースを重ね、2012年1月には約6年ぶりとなる待望のニューアルバム“NEW EPOCH”がリリースされた！！

<http://www.gothtrad.com>

▼6月24日デビュー・ライブについて

2013年6月24日(月)

ZIMA presents Future Party

【会場】

リキッドルーム

東京都渋谷区東 3-16-6

【開場/開演時間】

19:00 / 19:30

【終了時間】

21:30

【ラインナップ】

Z-MACHINES

GOTH-TRAD

【参加方法】

先着で1000名様を無料でご招待致します。

詳細は、「Z-MACHINES」プロジェクトサイトをご覧ください。

「Z-MACHINES」プロジェクトサイト URL : <http://zmachines.jp/>

※事前のご予約は必要ございません。直接会場までお越しください。

※イベントの20歳未満の方のご入場は固くお断りしております。ご入場の際には写真付きの身分証明証の提示をお願い致します。

▼一般からの楽曲募集で特別賞を受賞したユーザーには、スタインバーガーのギターを贈呈
ギターロボットが使用するスタインバーガーと同モデルのギターを、特別賞受賞者に対してプレゼント致します。

【モデル名】Steinberger Spirit GT-PRO Standard
スタインバーガーURL : <http://www.steinberger.com>



▼ロボットのライブ出演や楽曲制作のオファー受付中！

Z-MACHINES は日本のパーティーカルチャーを盛り上げるために ZIMA が開発した、「パーティーを愛するすべて人に解放された演奏装置」であるロボットです。そのため、「うちのパーティーを盛り上げたい！」「この超絶演奏能力を生かしてこういう曲が作りたい！」という皆様に使っただけたらと思います。ライブやパーティーのオファー、プロ・アマを問わず、この演奏性能を生かした曲作りへの使用などの要請を受け付けています。

※ロボットのスケジュールが過密になってきており、全てに応えられるとは限りませんのでご了承下さい。